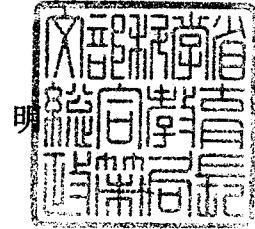


各都道府県・指定都市教育委員会教育長  
附属の義務教育諸学校を置く各国立大学法人学長 殿  
関係都道府県知事

文部科学省総合教育政策局長  
清水



(印影印刷)

平成32年度及び平成33年度在外教育施設派遣教師の  
推薦について(依頼)

文部科学省においては、我が国の主権の及ばない外国で生活する日本人の子供に対し、国内における教育の機会均等及び義務教育無償の精神に沿って、日本国民にふさわしい教育を行うとともに、併せて国際性を培うことを目的とした施策を実施しているところですが、その一環として、在外教育施設に対する教師派遣を行っています。

近年、在外教育施設においては、在籍児童生徒数の増加傾向に加え、日本語指導や特別な支援を必要とする児童生徒数の増加、保護者からの英語教育に対する高い要望など、多様な学習内容・方法を通じた教育活動の充実が望まれています。

文部科学省では、在外教育施設を取り囲む様々な課題の解消や特色ある環境を生かし、在外教育施設をグローバル人材育成拠点としてより積極的なグローバル人材育成に資する教育の強化を図ることが重要であることを踏まえ、「在外教育施設グローバル人材育成強化戦略」を策定(平成28年5月19日)しました。これを受け、在外教育施設において小学校段階での英語による授業のカリキュラム開発や日本語学習をはじめとする日本型教育や日本文化発信などの先進的プログラムを推進するため「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」を平成29年度新規事業として立ち上げ、平成31年度も継続して取り組む予定です。また「教師のグローバル化」の観点から、平成29年8月に「トビタテ!教師プロジェクト」を立ち上げ、在外教育施設への教師の関わり方を「派遣前」「派遣中」「帰国後」の魅力を高めることにより、グローバルな教師を戦略的に育成していく取り組みを実行しています。

具体的には、「各自治体が姉妹都市等として交流を行っている国や地域への優先配置」、「日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数の多い自治体からの派遣教師に対する必要言語を考慮した国や地域への優先配置」、「小学校教師の英語力強化を目的とした優先配置」、「補習授業校との連携強化のための配置」等を設けました。これらにより、派遣された教師が在外教育施設での教育活動という枠を超え、関係国や地域とのパイプ役を務めることにより国際交流がより活発化し、帰国後には貴自治体におけるグローバル教師として教師力を発揮することはもとより国際化の進展や国際理

解教育の一層の推進を図るミドルリーダーとしての活躍が期待されます。

また、派遣教師が、日本とは異なる教育環境において、全国から選抜された教師と共に学校の中核となって教育活動を行う経験は、国内では体験できない貴重な機会となり、教師としての力量を高めることにつながると考えております。

ついては、以上の趣旨を十分御理解の上、別添「平成32年度及び平成33年度在外教育施設派遣教師の推薦及び選考手続について」に基づき、貴管内の義務教育諸学校に周知いただくとともに、事務作業の負担軽減の観点から、平成29年度まで指定用紙を紙媒体で送付していましたが、昨年度より電子媒体で提供していることも周知願います。

あわせて、「各都道府県教育委員会（指定都市含）における在外教育施設への派遣教師数について」を御参考の上、本事業を管下の教師の資質向上の機会と捉え、派遣教師として適当と認める者を積極的に御推薦くださるようお願いいたします。

なお、本依頼は平成31年度予算決定後に正式なものとなりますので、御留意ください。

〈本件連絡先〉

文部科学省総合教育政策局

教育改革・国際課

在外教育施設教職員派遣係

〒100-8959

東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111 内線 2440

FAX 03-6734-3711

E-mail zaigai@mext.go.jp